

## ◆委員会報告

### 防災管理委員会

#### 【目的】

防災管理に関する種々の問題を検討し、防火管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

#### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長  
看護師 1名、事務 2名、労務員 1名

#### 【内容】

- ① 災害発生時の対応について検討。
  - ・防災マニュアル・大規模災害マニュアル作成、現場への配置
  - ・停電時の対応体制
  - ・ライフライン（電気・水・ガス）の二重ルート確保
  - ・備蓄倉庫整備と3日程度の医薬品・水・食料品の準備
- ② 消防訓練について  
2006年度の消防訓練についても、例年同様、通報・避難訓練を主にした総合消防訓練、及び消火訓練を実施する。
- ③ 盗難防止対策について  
病棟での盗難が数件発生し、具体的な対策を検討した。

### 医療ガス安全管理委員会

#### 【目的】

医療ガス安全管理に関する種々の問題を検討し、医療ガス安全管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

#### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長  
看護師 1名、臨床工学技士 1名、事務 1名、労務員 1名

#### 【内容】

- ① 医療ガスに関する職員教育について  
医療ガスに関する知識を職員に浸透させるために、「医療ガス保安講習会」を職員教育の一環として計画・実施した。
- ② 医療ガス点検実施報告について  
医療ガス供給設備保守点検の報告会を当委員会に対し内村酸素が行い、特段大きな問題はなかった。ただ、今後は、業者による点検のみでなく、職員による定期的な点検が必要となってくる。

### 衛生委員会

#### 【目的】

職員の健康と衛生を確保するための管理を行なうことを目的とする。

#### 【構成】

委員長 庄野診療部長  
医師 1名、薬剤師 1名、事務 2名

#### 【内容】

職員健診（冬）実施  
雇入れ時健康診断の実施検討  
インフルエンザ予防接種の実施報告

### 院内感染対策委員会

#### 【目的】

院内感染に関わる対策を協議し、施設内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

#### 【委員会構成】

委員長 松村医長  
医師 3名 看護師 7名 薬剤師 1名 検査技師 1名  
事務 2名（院長、看護部長、事務長を含む）

#### 【内容】

1. 感染レポート（月報、半期、年報）の確認。レポート内容は、部位別病棟別培養分離菌・感受性率・耐性菌動向・入院時 MRSA スクリーニング・抗酸菌動向
2. 院内の感染症対策（外来待合室処置室等の室内空間、備品設備等、手技的なもの、事故発生時の対応策、ワクチン接種等の予防策）
3. 感染サーベイランスへの取り組みについてのデータ整理
4. 抗菌薬使用実績報告
5. 感染回診（毎週金曜午後から松村医長他）

### 医療事故防止・輸血委員会

#### 【目的】

主に医療者の立場から医療事故を未然に防止する為の対策案の検討と、安全で適正な輸血療法を推進し、これを実施するために協議検討することを目的とする。

#### 【委員会構成】

委員長 松村医長  
医師 3名 看護師 6名 薬剤師 1名 検査技師 1名  
事務 2名（院長、看護部長、事務長含む）

### 【内 容】

1. インシデントレポートの報告・解析
2. インシデント防止のための対策
3. 職員向け事故防止対策講演会の実施  
7月11日(月) 講演会  
「ヘルスケアリスクマネジメント  
～医療事故防止から診療録開示まで」  
講師 大阪大学医学部附属病院  
中央リスクマネジメント部 中島和江氏  
12月14日(水) 医療ガス保安講習会実施  
(内村酸素 池上公志氏)
4. 月末院内輸血在庫数・月間使用数の報告
5. 輸血副作用発生の監視、報告
6. 輸血に関わる医療事故防止策の策定
7. 適正使用への働きかけ

## 栄養管理・NST委員会

### 【目 的】

栄養管理業務・NST 活動に関する事項について検討、対策を行う。

### 【委員会構成】

医師1名、看護師4名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名

### 【内 容】

- ・NST回診(週1回)
- ・給食管理業務についての報告、検討、対策

## 褥瘡管理委員会

### 【目 的】

褥瘡に関する事項について検討、対策を行う。

### 【委員会構成】

医師1名、看護師4名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名

### 【内 容】

- ・褥瘡回診(週1回)
- ・褥瘡管理業務に関する必要事項の検討、対策

## 病床管理委員会

### 【目 的】

当院入・退院に関する事項及び一般病床・回復期病床・亜急性期病床の、適正な運用が可能になるよう協議し方向性を決定する。

### 【委員会構成】

医師7名、看護師4名、理学療法士1名、事務2名、MSW1名

### 【内 容】

開催日 毎週 火曜日16:30～(30分間)  
入院患者の動向を把握し、ベッドの有効活用が適切にできるように協議している。

## 臨床検査検討委員会

### 【目 的】

臨床検査の適正化及び効率的運営を目指すために、精度管理等、具体的事項について研究審議し、各部署間の情報伝達と連絡調整を図ることを目的とする。

### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長  
看護師4名 検査技師2名 事務1名

### 【内 容】

- ・定期的検査実施のための年間検査予定表作成・実施
- ・細菌伝票の書式変更を検討し、新伝票へ移行
- ・病院機能評価の取り組み(侵襲を伴う検査の適応基準作成、検査オーダーから結果報告までの手順書作成、内視鏡検査説明書(承諾書)作成)
- ・委員会規約の改定
- ・新検査システム導入に向けた取り組み、運用後の課題検討
- ・診療報酬改定に伴う変更事項確認
- ・毎月の検査に関するレセプト査定結果報告

## 診療情報管理委員会

### 【目 的】

診療情報の適切な管理により診療、調査研究、教育、法的資料、情報開示などの資料として有用に利用することで、安心・安全で質の高い医療の実現を図る。

### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長  
医師1名、看護師1名、検査技師1名、事務2名

## 【内 容】

2005年度より診療情報管理室を立ち上げ、業務を開始した。入院診療録の収納方法や貸出・返却に関しては確立されつつある。しかし、退院サマリーの早期作成や記載内容の検証など、診療録の内容に関しては今後の課題となっている。

- ・診療情報管理委員会の発足。
- ・診療情報管理体制加算の申請。
- ・退院サマリーの作成依頼。(退院後2週間以内の作成依頼)
- ・退院サマリー完成後に診療情報管理室へ収納されている診療録の、退院後1週間での収納について検討。(現在、庄野診療部長が主治医の診療録のみ試験的に実施)
- ・診療録、フィルム等の外部貸出。
- ・死亡患者の外來カルテ収納方法について検討。
- ・外來カルテのサマライズとその方法について検討。
- ・診療録監査のため、診療録記載マニュアルの見直し。

## 医療倫理委員会

### 【目 的】

「臨床研究に関する倫理指針」を理解し、患者の権利に対する配慮等について審議を行う。

### 【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名

### 【内 容】

計8回開催。臨床研究に関する審議のほか、病院機能評価(Ver. 5)を受審するにあたって、「患者の権利と義務」「職業倫理」「説明と同意」「臨床における倫理」などに関する検討・明文化、また、倫理に関する全職員向け研修会など、精力的に活動した1年であった。2005年度は、病院機能評価受審年度として、再度「倫理にかかわる項目・内容」について討議していくとともに、全職員向け研修会も引続き開催し、医療に携わっていくものとして必要な倫理観を養っていきけるよう活動していく。

## 薬事審議委員会

### 【目 的】

新規採用薬・削除薬の検討をはじめ、医薬品の適正使用の推進

### 【委員会構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務1名

### 【内 容】

新規採用薬・削除薬の検討をはじめ、医薬品の適正使用の推進を目的とし、計5回の審議を行った。

2005年度は、新規に5品目(5規格)を採用、6品目(6規格)を削除とした。2006年度は、院外及び院内の副作用情報をはじめとする医薬品の適正使用を目的としたさらなる情報収集と、速やかな情報提供に努めるべく本委員会を運営して行く。

## 診療機材購入検討委員会

### 【目 的】

医療機器・診療材料等、診療に係る機材購入を審議

### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名

### 【内 容】

2005年度医療機器導入実績

- ・H17再編成補助金対象機器
  - 消化器内視鏡装置
  - 内視鏡洗浄装置
  - 外科X線(Cアーム)
  - 人工呼吸器
  - 大型試薬保冷库
- ・補助金対象外機器
  - マンモグラフィ装置(済生会熊本病院より移設)
- ・検討機器
  - 超音波診断装置(H18年度補助申請)
  - CT・MRI等 高額修理保守契約内容審議
- ・その他検討
  - 診療機材・材料購入、修理等

## 外來検討委員会

### 【目 的】

外來患者が安全かつ安心して診療が受けられるように対策をたて、クレームや問題発生時には早期に対応し、解決策を検討することを目的とする。

### 【委員会構成】

医師1名、看護師2名、事務1名、薬剤師1名、検査技師1名、放射線技師1名、理学療法士1名

### 【内 容】

- ・外來待ち時間調査および患者満足度調査 1回/年実施
- ・各検査の予約の整備
- ・患者誤認防止策の検討
- ・病診連携との紹介連絡の調整、整備
- ・その他、各部署からの問題事項に対して検討を行った

## 回復期リハビリ病棟運営委員会

### 【目的】

回復期リハビリテーション病棟の円滑な運用と安定稼働を目指し、各職種と協議し内容の充実・レベルアップを図ることを目的とする。

### 【委員会構成】

委員長 多々良医員

医師2名、看護師3名、看護助手1名、理学療法士2名、作業療法士1名、医療ソーシャルワーカー2名、事務2名

### 【内容】

毎月一回施行

各職種（看護部、リハビリ部、ソーシャルワーカー、事務部、訪問看護部）の毎月の報告と討論により、各活動状況の相互理解を深め、入院患者の医療、看護、介護、転倒・転落事故状況と防止対策、転帰、収支状況、リハビリテーションの成果状況、訪問看護、地域医療施設との連携構築、病棟職員の研修などについて、検討した。

## 医療サービス向上委員会

### 【目的】

病院全体、各部署、委員会の「医療サービスの質向上に関する項目」について横断的に情報収集・ヒアリングを実施し、評価や改善に向けた提案等を行い、医療サービスの向上を図ることを目的とする。

### 【委員会構成】

医師1名、看護師4名、理学療法士1名、検査技師1名、放射線技師1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務1名

### 【内容】

- ・2005年5月に委員会を開設。毎月1回実施している。
- ・オアシス運動の実施（2005年8月より、2ヵ月に1回開催）
- ・ご意見箱の運用体制の構築  
（2005年12月より運用開始。翌月から、患者のクレームに対する回答を院内に掲示）
- ・入院・患者満足度調査実施の打診
- ・「医療サービスの向上」に関するヒアリング（各部署）の実施。

## 教育委員会

### 【目的】

全職員を対象にした研修会・勉強会等に関する事項を検討する。

### 【委員会構成】

委員長 田中看護部長

医師1名、看護師5名、検査技師1名、事務1名

### 【活動内容】

- 1 全職員に対して下記の研修会・講習会を実施した。
    - ・階層別研修会（新人15名、2年目19名、中堅11名、幹部リーダー28名の参加）
    - ・熊本大学の吉田道雄教授を講師に招き、リーダーシップ研修会 参加者92名
    - ・公立多良木病院の田中誠医師による NST についての講習会 参加者77名
    - ・他、リスクマネジメント・感染、診療報酬制度等の講演会など
  - 2 教育プログラムの冊子を作成し、部署毎でプログラムに沿って実施した。
  - 3 看護部に対して、経年度毎に実施した。
    - ・新人看護師について病態生理の理解し、看護過程の展開が出来ることを目的とした事例発表会、6名発表。
    - ・卒後2年目看護師について看護理論の学習を通して自己の看護観を高め、看護過程の展開が出来ることを目的とした事例発表又は患者体験発表会、12名発表。
    - ・卒後3年目看護師について看護研究の研修会（看護協会主催）に参加し、看護研究に取り組み、2名発表。
    - ・中堅看護師について看護単位毎に院内看護研究発表会、4題発表。
    - ・疾患、看護、創傷ケア、ワーキング活動等の定期的な勉強会を年間60回開催し、それぞれ20～40名位の参加者があった。
- ※部署毎に格差があり、課題を残している。

## 連携協議会

### 【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病病連携を円滑に行うため、病診連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

### 【委員会構成】

委員長 大久保係長

医師1名、看護師5名、理学療法士1名、事務1名

## 【内 容】

- ・2004年度紹介患者数分析
- ・連携機関との問題点検討
- ・町行事への参加（7月21日港祭り）
- ・第6回学術講演会・病診連携会議開催（7月26日（火））
- ・第7回学術講演会・病診連携会議開催（1月26日（木））
- ・五橋エリアの医療福祉を考える会開催（4月27日）
- ・五橋エリアの医療福祉を考える会開催（8月25日）
- ・五橋エリアの医療福祉を考える会開催（12月1日）
- ・クリスマスコンサート開催（12月17日）  
（三角小学校・三角中学校の生徒さんボランティア）
- ・健康応援の集い開催（3月18日（土） 当院にて）
- ・出前健康講座開催（15回開催） 参加者総数 878名
- ・院内健康講座開催（8回開催） 参加者総数 133名
- ・ボランティアについて検討
- ・患者・家族の会について検討
- ・健康と福祉の情報誌「さいせい」発行（年3回発行）
- ・「診療体制のご案内」校正、発行・・・（熊本病院協力）
- ・研修会内容検討
- ・外来一覧表・各種研修会の情報の配布（近隣医療・福祉施設約110施設 毎月1回）

## 広報委員会

### 【目 的】

連携協議会の中にあって、患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くための広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画、その他広報を行う。また、職員に対しての院内広報を行う。

### 【委員会構成】

委員長 益山医員  
看護師 3名 薬剤師、放射線技師、検査技師  
各1名 事務 4名

### 【内 容】

- ・2004年報内容検討・校正・作成
- ・ホームページ導入、稼働
- ・院内誌「済生くまもと」第63号、64号、65号内容検討
- ・病院パンフレット作成
- ・院内掲示物の仕方を検討、明文化
- ・委員会規約の見直し
- ・ホームページ作成後の更新の見直し
- ・院内掲示物の見回り
- ・2005年報内容検討

## 職場改善委員会

### 【目 的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

### 【委員会構成】

委員長 松村医長  
看護師 5名 看護助手、薬剤師、放射線技師、  
検査技師、臨床工学技師、理学療法士、栄養管理  
師 各1名 事務 2名

### 【内 容】

- ・職場会に出された意見を病院側に反映
- ・職員意見箱の回収（男性、女性、医局ロッカー）  
月一回（第一水曜）の職場会開催日に回収し、出された意見を職場会で検討後、病院・担当部署・委員会などに要望し改善をはかる
- ・職員の福利厚生に係わる年間行事検討・実施  
お花見会の計画（4/6 トライコートにて実施）  
新人歓迎ボーリング大会の計画（6/17 宇土パスカワールドで実施）  
職員旅行の計画（10/7 阿蘇黒川温泉日帰り旅行  
11/12・13鹿児島スパリゾート1泊2日旅行）  
忘年会内容検討、司会、進行（前半12/16 後半12/22）
- ・イベント行事への参加  
三角みなと祭り（7/24）  
医師会主催ミニバレー大会（10/8）

## 個人情報保護法対策検討委員会

### 【目 的】

2005年4月に個人情報保護法が全面施行されたことに伴い、個人情報保護方針、規定等を整備・実践し、患者の個人情報及び職員の個人情報を保護することを目的とする。

### 【委員会構成】

委員長 庄野診療部長  
看護師1名、薬剤師1名、事務4名

### 【内 容】

- ①個人情報に関わる以下のものを整備した。
  - ・個人情報保護方針（プライバシーポリシー）
  - ・個人情報利用目的
  - ・個人情報に関わる患者対応マニュアル
- ②個人情報保護法に関する職員教育について  
全体朝礼の場を使って、実施することとした。また、新人職員研修の中でも、それについて取り上げることとした。

## 医療機能評価プロジェクト

### 【目的】

受審を契機として、問題点の改善や機能強化を行い、より良質な医療を提供する。

### 【委員会構成】

委員長：木下事務長

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、検査技師1名、事務4名

### 【内容】

- 4月 受審時期の再検討（当初2005年11月）
  - 解説集の配布
  - 隔週で項目毎の勉強会開催
- 7月 済生会唐津病院訪問
- 9月 自己調査票に基づく院内サーベイ計画立案
- 10月 受審申込（受審時期2006年8月）
- 11月 院内サーベイ書類確認1日
  - 領域別3日（管理会議メンバー出席）
  - 委員会関係1日
- 幹部・リーダー研修にて院内サーベイ結果報告
- 12月 院内サーベイ結果のデータベース作成
- 1月 C評価項目の公表
  - 以降対策検討のため毎週開催
- 2月 自己評価を4月・院内向け報告会を5月実施することを決定
- 3月 病院機能改善支援セミナー（3/9）の報告及び対策検討